

【議 題 2】

令和2年度岩手支部事業計画の実施状況について

■ 目次

- I. 基盤的保険者機能関係・・・2頁～
- II. 戦略的保険者機能関係・・・12頁～
- III. 組織・運営体制・・・・・・・・・・27頁～

参考) 令和2年度

岩手支部事業計画におけるKPI（重要業績評価指標）一覧・・・31頁

令和2年度 岩手支部事業計画

I. 基盤的保険者機能関係

I. 基盤的保険者機能関係

(1) 現金給付の適正化の推進

KPI設定なし

事業計画

- 現金給付の適正化を推進するため、資格取得日等について疑義のある申請書について、保険給付適正化プロジェクトチーム会議において協議、情報共有を図り支部全体で対応する。また、事業所への立入り調査を適宜実施（状況に応じ年金機構と連携）する
- 資格について疑義のある申請書の返戻、役員の給付申請に関する報酬確認等、特に現金給付を受給するためだけの資格取得について、適切に確認を実施する
- 傷病手当金と他制度給付との適正な併給調査の実施
 - 傷病手当金の審査における、年金機構に対する年金受給額等の照会を行い、併給調整を確実に実施する
 - 傷病手当金と労災休業補償の重複支給防止を図る

令和2年度の実施状況

項目	総件数	調整件数	調整金額
資格取得日等の疑義申請書	77件	0件	0円
傷病手当金と年金の併給調整	264件	193件	14,577,879円
傷病手当金と労災との重複調査	4件	0件	0円

I. 基盤的保険者機能関係

(2) 効果的なレセプト点検の推進

KPI

社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度以上とする

〈未達成〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

査定率

0.338%以上

0.308%

対前年度以上

〔計算式〕
社会保険診療報酬支払
基金査定点数+
協会けんぽ査定点数

請求総点数

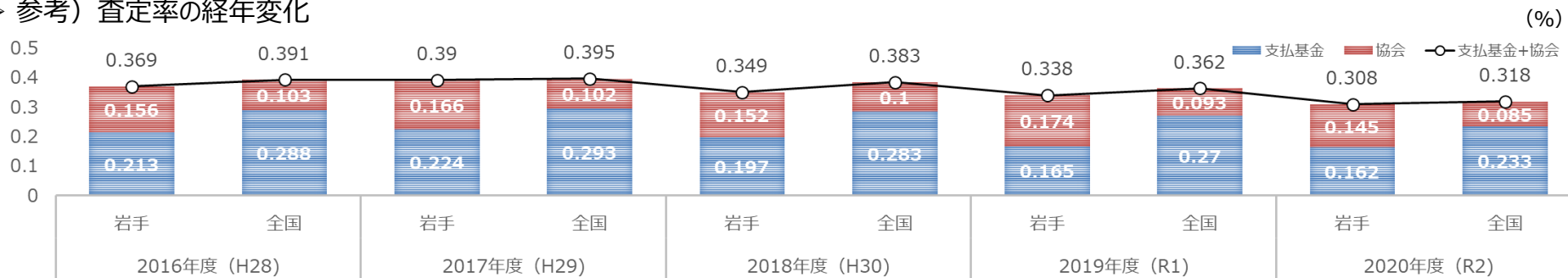
事業計画

- 査定率を向上させるため、レセプト点検業務による再審査請求を推進する
- 社会保険診療報酬支払基金との連携を強化し、査定率向上に努める

令和2年度の実施状況

項目	岩手支部	全国	査定率の差(岩手-全国)
査定率(支払基金+協会)	0.308%	0.318%	-0.01%
支払基金の査定率	0.162%	0.233%	-0.071%
協会の査定率	0.145%	0.085%	0.06%

参考) 査定率の経年変化



I. 基盤的保険者機能関係

(3) 柔道整復施術療養費の照会業務の強化

KPI

柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について対前年度以下とする

〈 未達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

申請の割合

0.48%以下

0.49%

対前年度以下

〔計算式〕
3部位以上かつ15日以上
施術の申請書数

柔道整復施術療養費
申請書数

事業計画

- 多部位、頻回の申請等における、柔道整復療養受診者及び柔道整復師への負傷原因照会を実施する
- 長期施術（部位ころがし）に対する患者照会を実施する
- あんまマッサージ指圧、鍼灸施術療養費にかかる申請等について、適正化を推進する

令和2年度の実施状況

項目	照会等件数	結果
多部位、頻回の申請等の負傷原因照会	5,744件	3,266件 (56.9%)
長期施術（部位ころがし）に対する患者照会	49件	21件 (42.9%)
あんまマッサージ指圧、鍼灸施術療養費にかかる取組み	7件	2件往療料不支給 (内1件厚生局へ情報提供済)

I. 基盤的保険者機能関係

(4) 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

● 返納金債権発生防止のための保険証回収強化

KPI

日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を95.7%以上とする

〈 達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	〔計算式〕 日本年金機構と 協会けんぽの回収枚数 資格喪失者の保険証枚数
保険証回収率	95.7%以上	95.77%	対前年度以上	

事業計画

- 資格喪失後に保険証が未回収となっている者へ早期催告を実施する
- 無効保険証の早期回収に向けた広報及び保険証適正利用に向けた制度周知を行う

令和2年度の実施状況

項目	岩手支部	全国	回収率の差（岩手－全国）
資格喪失後の保険証回収率	95.77%	92.41%	3.36%
回収対象の保険証枚数	57,428枚	約600万枚	
回収済の保険証枚数	54,999枚	約540万枚	

➤ 広報内容（主なもの）

項目	内容	実施月
県内大学及び専門学校等への健康保険適正利用チラシの配置	次年度就職を予定する学生に向けて健康保険の適正利用に関する情報を周知	令和2年8月
ハローワーク及び自治体への保険証回収ポスターの配置	退職者を対象に資格喪失後の保険証返却について効果的な広報を実施するため、ハローワーク及び自治体にポスターの掲示を依頼	令和2年8月
保険証の未回収が多い事業所へのチラシの配布	保険証の早期回収、健康保険の適正利用に関する情報を周知するためチラシを配布	令和3年3月

I. 基盤的保険者機能関係

(4) 返納金債権発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進

● 債権回収業務の推進

KPI

- ① 返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る）の回収率を対前年度以上とする
- ② 医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする

〔計算式〕
回収金額

〈 未達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

（参考）令和3年度目標

①債権回収率

72.88%以上

70.57%

対前年度以上

返納金債権総額

②返納金割合

0.035%以下

0.052%

KPI削除

資格喪失後受診の
返納金総額

医療給付費総額

事業計画

- ・ 債権回収計画に基づいた計画的な督促業務の強化および支払督促等の法的手続きによる回収を実施する
- ・ 回収率を向上させるため、債権回収強化月間を設定する
- ・ 無資格受診により生じた返納金に係る保険者間による調整を推進する

令和2年度の実施状況

項目	岩手支部	全国	回収率・返納金割合の差 (岩手－全国)
KPI① 回収率（金額ベース）	70.57%	53.40%	17.17%
調定金額	29,743,715円	約50億円	
回収金額	20,991,610円	約26億円	
KPI② 返納金の割合	0.052%	0.087%	▲0.035%
医療給付費	57,705,282,310円	約5兆7千億円	
資格喪失後受診に伴う返納金	29,743,715円	約50億円	

I. 基盤的保険者機能関係

(5) サービス水準の向上

● サービススタンダード

KPI

サービススタンダードの達成状況を100%とする

〈 達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

達成率

100%

100%

100%

〔計算式〕

傷病手当金・出産手当金・
出産育児一時金・埋葬料
の10営業日以内の支払い
件数

上記申請書の受付件数

事業計画

- サービススタンダードの管理を徹底の上、10営業日以内の着実な支払いを実施する

令和2年度の実施状況

項目	申請件数	平均所要日数	参考) 全国の達成率
傷病手当金	13,263件	5.79日	99.52%
出産手当金	2,000件	6.11日	99.62%
出産育児一時金	1,046件	6.03日	99.55%
埋葬料	490件	6.12日	99.65%

I. 基盤的保険者機能関係

(5) サービス水準の向上

●申請に係る郵送化

KPI

現金給付等の申請に係る郵送化率を92.0%以上とする

〈 達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標
郵送化率	92.0%以上	93.8%	95.0%

〔計算式〕
郵送による申請書
受付件数

申請書受付総件数

事業計画

- お客様満足度の向上に向け、受付窓口や電話相談におけるスムーズな対応を徹底する
- 加入者、事業主の利便性向上や負担軽減の観点から、郵送による申請の勧奨を行う

令和2年度の実施状況

花巻年金事務所内
サテライト窓口閉鎖

宮古・一関年金事務所内
サテライト窓口閉鎖

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
郵送による申請数	5,398	4,115	4,992	5,075	4,786	5,054	5,249	4,792	4,414	5,100	5,072	5,537
受付総件数	6,173	4,383	5,422	5,543	5,143	5,397	5,489	4,975	4,606	5,313	5,261	5,785
郵送化率 (%)	87.4	93.9	92.1	91.6	93.1	93.6	95.6	96.3	95.8	96.0	96.4	95.7

お客様満足度向上に向けた取組み

希望者への申請書郵送を円滑に実施

相談・問い合わせの多い「任意継続の加入」について、制度案内チラシを作成。コロナ禍における窓口対応時間の短縮や書類不備による申請書差し戻しの削減のため活用

I. 基盤的保険者機能関係

(6) 限度額適用認定証の利用促進

KPI

高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を85.0%以上とする

〈 未達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

〔計算式〕
現物給付の件数

使用割合

85.0%以上

79.2%

KPI削除

現物給付の件数 +
高額療養費支給件数

事業計画

- 限度額適用認定証の利用促進計画書を作成し、医療機関、事業主、加入者等への制度周知や申請書配布等により利用促進を実施する
- 医療費助成を行った市町村からの代理受領の高額療養費申請が多くみられるため、市町村に対して限度額適用認定証利用促進の協力依頼を実施する

令和2年度の実施状況

➤ 令和2年度利用促進計画を策定し、以下のとおり実施

項目	実施内容	数量
医療機関	申請書一体型リーフレット、封筒、周知ポスターを送付し、医療費が高額となりそうな協会けんぽ加入者へ申請いただくよう依頼	延べ828医療機関
事業主	各種広報にて限度額適用認定証利用促進について周知	3回
市町村	申請書一体型リーフレット及び封筒を送付し、医療費助成対象者へ申請いただくよう依頼	6市町村

I. 基盤的保険者機能関係

(7) 被扶養者資格の再確認の徹底

KPI

被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を92.6%以上とする

〈 達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

提出率

92.6%以上

94.5%

94.7%

〔計算式〕
事業所からの
確認書提出数

確認対象事業所数

事業計画

- 医療費適正化に向けて被扶養者資格再確認業務を確実に進め、提出率を向上させるため未提出事業所への提出勧奨および未送達事業所への調査を確実に実施する

令和2年度の実施状況

項目	確認書送付件数	確認書提出件数	提出率	参考) 令和元年度提出率
岩手支部	11,619	10,975	94.5%	94.7%

➤ 提出率向上のため、下記提出勧奨等を実施

未提出事業所への提出勧奨数	未送達事業所の調査件数	再送付数
1,407	14	10

令和2年度 岩手支部事業計画
Ⅱ. 戦略的保険者機能関係

II. 戦略的保険者機能関係

(1) ビックデータを活用した個人・事業所単位での健康・医療データの提供

KPI設定なし

事業計画

- 「事業所健康度診断シート」等を活用し、事業所訪問により「いわて健康経営宣言」事業登録事業所の拡大を図る
- 「いわて健康経営宣言」登録事業所へ「事業所健康度診断シート」を提供し、自社の健康づくりに関する情報を提供する

令和2年度の実施状況

- 生活習慣病予防健診データ等を活用し、事業所の健康度を見える化したツールを作成。事業所における健康づくりの取組みを支援するため、「いわて健康経営宣言」事業に登録している事業所等に定期的に提供（令和2年度は12～1月、3月に計971社へ提供）

〈資料イメージ 一部抜粋〉

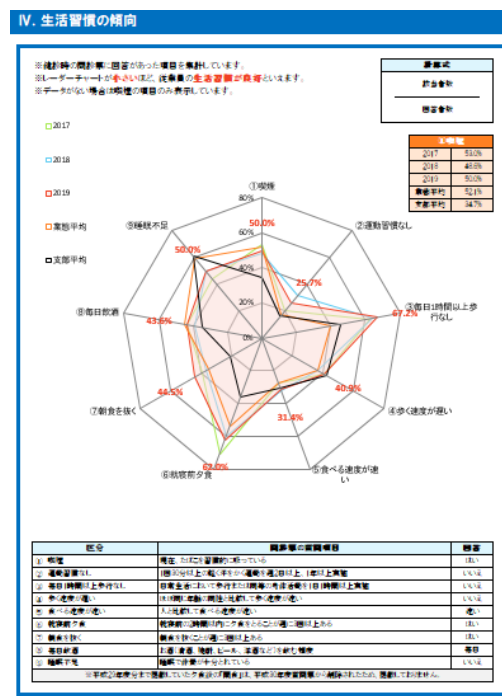
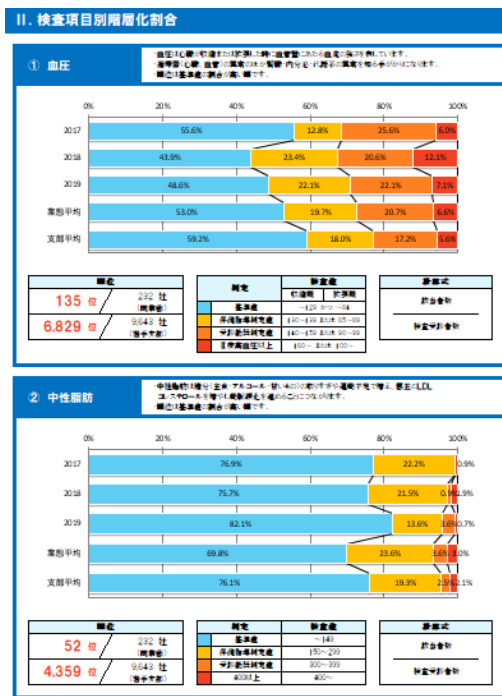
事業所健康度診断

2020

〇〇株式会社 御中

業態区分：●●業

令和3年4月作成



II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上 【生活習慣病予防健診】

KPI

生活習慣病予防健診受診率を53.4%以上とする（40歳以上受診見込者数：96,728人 / 受診対象者数：181,139人）

〈 達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	[計算式] 40歳以上の受診者数 (被保険者)
受診率	53.4%以上	55.8%	59.6%	40歳以上の被保険者数

事業計画（重点事項抜粋）

- 生活習慣病予防健診の未契約健診機関に対し、契約締結に向けた交渉を行う
- 既存の健診実施機関に健診受入件数の増加を促すため、推進経費を活用した勧奨を行う
- 事業者健診を行っている事業所に、生活習慣病予防健診への切替を促すため個別に勧奨を行う
- 健診機関過疎地域での受診機会を増やすため、検診車の巡回健診を企画し、事業主向けに広報を行う
- 生活習慣病予防健診を利用していない事業所の被保険者に健診受診を促すため、被保険者への受診勧奨を行う

令和2年度の実施状況

全国順位 **24位**

令和2年度	対象者数	受診者数	受診率	受診率の差 (岩手-全国)
岩手支部	178,815	99,853	55.8%	4.8%
全国	16,210,164	8,273,160	51.0%	

➤ 参考) 令和元年度の状況（全国 30位）

元年度	対象者数	受診者数	受診率
岩手支部	177,870	96,848	54.4%
全国	15,985,506	8,361,411	52.3%

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上（続き） **【事業者健診データ取得】**

KPI

事業者健診データ取得率を13.6%以上とする

(40歳以上取得見込者数：24,635人 / 受診対象者数：181,139人)

〔計算式〕

40歳以上のデータ取得数
(被保険者)

40歳以上の被保険者数

〈未達成〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

(参考) 令和3年度目標

データ取得率

13.6%以上

11.6%

18.4%

事業計画

- 事業者健診データの未提出事業所にデータ提供の同意書を提出していただくため、個別に勧奨を行う
- 既存の健診実施機関に対し、事業者健診データの作成、提供に関する委託契約締結の交渉を行う

令和2年度の実施状況

全国順位

9位

令和2年度	対象者数	取得者数	取得率	取得率の差 (岩手-全国)
岩手支部	178,815	20,693	11.6%	3.6%
全国	16,210,164	1,289,699	8.0%	

➤ 参考) 令和元年度の状況 (全国 2位)

元年度	対象者数	取得者数	取得率
岩手支部	177,870	26,840	15.1%
全国	15,985,506	1,220,737	7.6%

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

i) 特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上（続き）【特定健診】

KPI

被扶養者の特定健診受診率を27.6%以上とする (40歳以上受診見込者数：12,035人 / 受診対象者数：43,606人)

〈 未達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	[計算式] 40歳以上の受診者数 (被扶養者) ----- 40歳以上の被扶養者数
受診率	27.6%以上	21.9%	27.8%	

事業計画（重点事項抜粋）

- 被扶養者に健診受診を促すため、健診機関の選択条件を提示したうえで、条件にする健診機関をGISにより選定し、被扶養者向けに情報提供、受診勧奨を行う
- 受診機会を増やすため、協会主催の集合健診を企画し、被扶養者向けに広報を行う
- 受診機会を増やすため、全市町村でがん検診との同時受診が可能な体制を継続し、被扶養者向けに広報を行う
- 健診内容を充実させるため、検査項目を増やしたセットメニューを設定し、被扶養者向けに広報を行う

令和2年度の実施状況

全国順位 **31位**

令和2年度	対象者数	受診者数	受診率	受診率の差 (岩手-全国)
岩手支部	41,758	9,158	21.9%	0.6%
全国	4,281,665	912,342	21.3%	

▶ 参考) 令和元年度の状況 (全国 29位)

元年度	対象者数	受診者数	受診率
岩手支部	42,785	10,645	24.9%
全国	4,330,444	1,103,651	25.5%

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

ii) 特定保健指導の実施率の向上

KPI

特定保健指導の実施率を19.0%以上とする (実施見込者数：4,912人 / 対象者数：25,836人)

〈 未達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	〔計算式〕 特定保健指導の 評価者数 特定保健指導対象者数
実施率	19.0%以上	15.1%	・被保険者 24.1% ・被扶養者 8.0%	

事業計画（重点事項抜粋）

- 特定保健指導を受入していない事業所に、受入に関しての同意をいただくため支部幹部職員の訪問による個別勧奨を行う
- 特定保健指導実施機関での健診同日実施件数を増やすため、特定保健指導の受入に同意している事業所名を健診機関に提供し、健診当日実施への切替を促す
- 協会けんぽ保健指導者一人あたりの初回面談実施件数を伸ばすため、過去の受入状況等のデータを有効に活用し訪問スケジュールを効率的に組み立てる
- 協会けんぽの保健指導者による訪問が難しい地域は、委託業者が訪問できる体制を作り、事業主向けに案内を行う
- 保健指導者訪問による保健指導を拒否する事業所向けに、事業所の利便性を確保するため I C T で対応可能な体制を構築する

令和2年度の実施状況

全国順位 **33位**

令和2年度	対象者数	実施者数	実施率	実施率の差 (岩手-全国)
岩手支部	27,447	4,153	15.1%	▲0.3%
全国	2,049,880	316,666	15.4%	

▶ 参考) 令和元年度の状況 (全国 39位)

元年度	対象者数	実施者数	実施率
岩手支部	27,039	4,119	15.3%
全国	2,094,748	358,202	17.1%

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

iii) 重症化予防対策の推進

KPI

受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.9%以上とする

〈 未達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	[計算式] 3か月以内の 医療機関受診者数
受診した者の割合	12.9%以上	9.9%	11.8%	受診勧奨対象者数

事業計画

- 要治療と判断された被保険者に、医療機関への受診を促すため、一次勧奨から1ヶ月以内に二次勧奨を行う
- 特定保健指導が医療機関受診の動機付けとなるよう、協会けんぽ保健指導者のスキルアップ研修を行う
- 血糖未治療者のうち、岩手県の基準により選定した対象者へ腎症予防プログラム利用勧奨を行う

令和2年度の実施状況

全国順位 **27位**

令和2年度	一次勧奨者数	3か月以内の 受診者数	受診率	受診率の差 (岩手-全国)
岩手支部	4,685	466	9.9%	▲0.2%
全国	382,406	38,803	10.1%	

▶ 参考) 令和元年度の状況 (全国 9位)

元年度	一次勧奨者数	3か月以内の 受診者数	受診率
岩手支部	4,424	503	11.4%
全国	359,041	37,784	10.5%

血糖の未治療者対策	勧奨者数	参加者	参加率
腎症予防プログラム利用勧奨	633	5	0.8%

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

iv) コラボヘルスの推進

〈 いわて健康経営宣言シンボルマーク 〉

いわて
健康経営宣言事業所



KPI設定なし

事業計画

- 健康経営の未宣言事業所に制度の趣旨をご理解いただき、健康経営宣言に取り組んでいただくための個別勧奨を行う
- 健康経営による取組効果を確認いただくため、1年間の取組状況、および事業所健康度に関する情報提供を行う
- 宣言事業活性化のため、宣言によるインセンティブ拡大、健康宣言シンボルマークのブランド化、関係団体と連携した優良企業の表彰等を行う

令和2年度の実施状況

▶ 個別勧奨の実施状況は以下のとおり

項目	内容	勧奨数	登録数	登録率
文書送付	岩手県知事と支部長の連名による登録勧奨文書を送付	3,513	78	2.2%
事業所訪問	登録勧奨文書を送付した事業所のうち、登録数が少ない地域を登録重点地域とし、外部委託による訪問を実施	214	39	18%
架電	訪問を実施した際に登録の見込みが大きいと思われる事業所に架電による意向確認を実施	110	52	47%

(その他、自然増等により96増加)

結果	
登録事業所数 (累計)	1,361
被保険者数の割合	30.8%
増加事業所数 (対前年度)	265

▶ その他の取組み

項目	内容	実施月
いわて健康経営アワード	応募23社中 5社表彰	12月
シンボルマークの提供	261社に提供	令和3年3月時点
事業所健康度に関する情報提供	・取組み状況のフィードバック (370社に提供) ・事業所健康度シートの提供 (971社に提供)	・3月 ・12～1月、3月

▶ 宣言登録に関するインセンティブ ※令和2年度より付与

● 温泉入浴料の割引
覚書締結企業 …5社

● スポーツクラブの入会金、会費等の割引
覚書締結企業 …7社

令和3年度以降も交渉を進めていく予定

II. 戦略的保険者機能関係

(2) データ分析に基づいた第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）の着実な実施

v) その他保健事業

KPI設定なし

事業計画

- 関係団体との連携によるウォーキング大会、イベントブースへのブース出展等を通じ健康づくり事業の推進を図る
- 歯周病や生活習慣病を予防するため、歯科医師会等と連携した歯科健診事業を実施する
- 健診結果の分析作業および分析結果を活用し加入者への広報を実施する
- 「いわて健康経営宣言」事業に登録している事業所を対象に、健康に関するパンフレット等を提供し、事業所の健康づくりを推進する

令和2年度の実施状況

➤ 歯科健診事業の実施状況（4月より受付を開始し、6月～2月までの間に健診を実施）

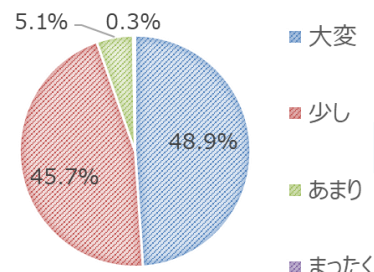
受診者数上限：700人

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
受診者数	13	25	31	44	86	4	26	1	3	233人
事業所数	5	3	3	3	2	3	3	1	3	26事業所

➤ 健康に関するパンフレット等の提供（令和2年度は7月と3月に提供）

	送付数	内容
7月	1,155	新型コロナウイルスおよびインフルエンザ等の感染症対策
3月	1,206	高血圧症の予防等

● アンケート結果（7月提供分）一部抜粋
回答率・・・34%



提供したパンフレット等が「役に立っているか」との問いについて、約95%が大変、少しと回答

II. 戦略的保険者機能関係

(3) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等への理解促進

i) 広報関係

KPI

広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする

〈 未達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	〔計算式〕 本部調査による (インターネット調査)
理解率	43.9%以上	35.1%	KPI削除	

事業計画 (重点事項抜粋)

- ・ 日本年金機構と連携し、納入告知書に制度等周知用チラシを同封、全加入事業所に対する広報を実施する
- ・ 健康保険委員専用広報誌「ハピネス」により、健康保険委員向けの広報を実施する
- ・ メールマガジンの定期（臨時号含む）の発行及び登録者数の拡大を図る
- ・ WEB広告（バナー広告）を活用し特定健診等、協会けんぽの各事業にかかる広報を実施する
- ・ 健診受診率向上のための動画を作成し、テレビCMや動画配信サイトを活用した広報を実施する

令和2年度の実施状況

▶ 加入者理解率の各項目における調査結果は以下のとおり（上記事業は計画通り実施済）

	調査数	保険料	健診・保健指導	その他取組み	医療のかかり方	現金給付	単純平均
岩手支部	151人	19.0%	33.6%	35.9%	40.9%	46.0%	35.1%
全国	7,200人	24.7%	41.6%	40.1%	46.5%	52.2%	41.0%
全国との差 (岩手-全国)		▲5.7%	▲8.0%	▲4.2%	▲5.6%	▲6.2%	▲5.9%
参考：令和元年度 (岩手支部)	153人	26.5%	46.9%	42.9%	51.8%	54.0%	44.4%

II. 戦略的保険者機能関係

(3) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等への理解促進

ii) 健康保険委員関係

KPI

全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を50.7%以上とする

〔計算式〕
健康保険委員を委嘱して
いる事業所の被保険者数

全被保険者数

〈 達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標
被保険者数割合	50.7%以上	51.4%	51.2%

事業計画 (重点事項抜粋)

- 健康保険委員が配置されていない事業所に、委員の委嘱に関する同意を得るため個別に勧奨を行う
- 健康保険委員の委嘱に関する動機付けとなるよう、委員向けに特典を付与する
- 加入者の意見を把握し、各種事業に活かせるよう、健康保険委員向けのアンケートを行う

令和2年度の実施状況

参考) 全国の被保険者数割合 : 45.2%

健康保険委員登録拡大にかかる実施状況

※新規に健康保険委員となった方を対象に健康保険ガイドブックを提供 (令和2年7月～)

項目	実施月	勧奨数	登録数	登録率	登録事業所の被保険者数
文書送付	8～10月	1,817	98	5.4%	3,346
事業所訪問	12月	10	6	60%	1,821
架電勧奨	9月	1,172	79	6.8%	3,041

アンケートの実施状況

実施月	アンケート送付数	アンケート回答数	回答率
6月	2,262事業所	832事業所	36.8%

令和2年度は広報内容に関するアンケートを実施し、アンケート結果を広報内容に反映

II. 戦略的保険者機能関係

(3) 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等への理解促進

iii) その他

KPI設定なし

事業計画（重点事項抜粋）

- 県民の健康的な生活実現のための取組みを推進するため、岩手県と連携した広報活動を行う
- 医療費、健診等データを活用した県との共同分析を実施する
- 経済関係5団体（商工会、商工会議所、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会）との覚書に基づく、県民の健康的な生活実現のための取組みを推進する
- その他、保険者協議会における他保険者などの関係団体との連携体制の構築と、県民の健康的な生活実現のための取組みを推進する
- 加入者の健康づくりに対する啓発を行うため、岩手日報社、関係団体等と連携し、健康川柳コンクールを実施する

令和2年度の実施状況

▶ 主な実施状況は以下のとおり

項目	内容	実施時期
岩手県と連携した広報活動	納入告知書同封チラシに岩手県より提供された記事を掲載	2月を除く毎月
医療費等データを活用した分析	共同分析に向けた岩手県との調整（データの提供等、実際の作業は令和3年度以降に実施）	通年
健康川柳コンクール	県内広く健康に関する川柳を募集し、健康保険委員による最終審査により受賞作品を決定。受賞作品は岩手日報社主催の「いわて健康ウォーク」会場内で展示したほか、岩手支部の各広報媒体により加入者に周知	6～3月

II. 戦略的保険者機能関係

(4) ジェネリック医薬品の使用促進

KPI

ジェネリック医薬品使用割合を84.5%以上とする（9月時点） ※医科、DPC、調剤、歯科における使用割合

〔計算式〕

ジェネリック医薬品の
使用数量

ジェネリック医薬品のある
先発薬数量+ジェネリック
医薬品数量

〈 達成 〉

令和2年度 目標

令和2年度 実績

（参考）令和3年度目標

使用割合

84.5%以上

84.7%

対前年度以上

事業計画

- ジェネリックの使用割合が低い医療機関等に、使用促進に向けた動機付けを行うため、地域におけるジェネリック使用状況等の情報を提供する
- ジェネリック医薬品に切り替えた際の自己負担軽減額通知を送付する
- 乳幼児のいる家庭にジェネリック医薬品使用による医療費適正化の啓発パンフレットを送付する

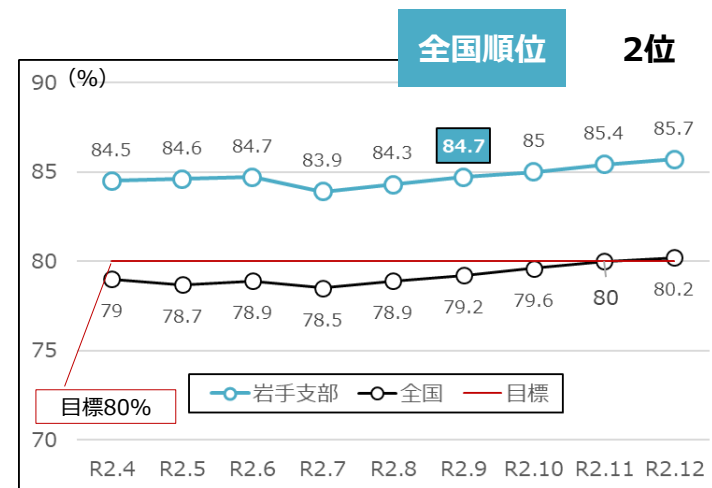
令和2年度の実施状況

▶ 令和2年度は9月までのKPIが設定されたことから、9月までの間で各事業を実施

●実施

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
医療機関・薬局への 使用促進			● 訪問	● 訪問	● 訪問	
軽減額通知					●	
岩手県協議会での 意見発信	開催なし・セミナー等の開催もなし					
乳幼児のいる家庭に 対する啓発				● パンフレット 送付		

▶ （参考）ジェネリック医薬品の使用割合



II. 戦略的保険者機能関係

(5) インセンティブ制度の本格導入 及び (6) パイロット事業への積極的な応募

インセンティブ制度の本格導入

KPI設定なし

事業計画

- 各種広報媒体を活用したインセンティブ制度の周知及び各インセンティブ指標の結果等について周知広報を行う

令和2年度の実施状況

●実施

広報媒体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納入告知書チラシ	●									●		
ハピネス	●		●		●		●		●		●	
メールマガジン	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※支部ホームページ上にも広報記事掲載（通年）

パイロット事業への積極的な応募

KPI設定なし

事業計画

- 支部パイロット提案委員会を定期開催し、採用されるべく職員からの提案内容の精査、本部への提出を行う

令和2年度の実施状況

主任以下全職員が1件以上事業提案

11～12月

パイロット提案委員会を定期的に開催し、提案内容を精査、本部提案に向けた調整

11～2月にかけて委員会を6回開催

本部提案予定も、パイロット提案を休止する旨本部より連絡があったため、提案取りやめ

令和3年度は支部からの提案休止

II. 戦略的保険者機能関係

(7) 医療データの分析に基づく地域の医療提供体制への働きかけ

KPI

- I. 他の被用者保険との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率を90.0%以上とする
- II. 「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する

〈 一部達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	〔計算式〕 被用者保険の 委員参加数 岩手県の医療圏数 (9医療圏)
I.参加率	90.0%以上	66.7%	KPI削除	
II.意見発信の実施	1回以上	4回	意見発信の有無	

事業計画

- ・ 効率的、効果的な医療提供体制が構築されるよう、地域医療構想調整会議、医療審議会、医療計画部会等において、医療データを活用した意見を発信する
- ・ 医療保険制度が持続安定されるよう、健康いわて21プラン推進協議会、岩手県がん対策推進協議会、岩手県後発医薬品安心使用促進協議会、保険者協議会等において情報、意見発信を行う
- ・ 医療費、健診データ等の分析を行い、各事業での活用、外部への意見発信、加入者への広報を行う

令和2年度の実施状況

参考) 全国の参加率 : 87.6%

▶ 被用者保険の保険者が参加している医療圏

医療圏	参加率 66.7%
盛岡・胆江・両磐・岩手中部 久慈・二戸	6医療圏 / 9医療圏

▶ 意見発信の状況 (一部抜粋)

令和2年度第1回岩手県医療審議会医療計画部会において、支部長が以下のとおり発言

資料3-2に在宅医療等への追加的需の推計値が記載されており、どの市町村、どの医療圏をみても、高齢化の進展により追加的需が発生し、在宅医療等のニーズが高まるのは確実だが、ここに記載されている数値をみても、現状、どれぐらい医療機関が足りていないか、ニーズがどれぐらいあって、どれぐらい不足が生じているのか見えずらい。したがって、地域医療構想の実現に向けた次期医療計画策定においては、今後の増加を推計し、在宅医療や介護の提供体制の見直しが必要と思われるが、入院から在宅医療への移行ができない患者を発生させないために、具体的に医療機関を何か所整備し、患者の受け入れ枠、何人に訪問介護を実施するのか等、明確な数値目標を設定することも必要ではないか

※未参加の気仙・釜石・宮古圏域については国民健康保険の保険者が参加
※参加委員の増加等について、保険者協議会の場で意見発信

令和2年度 岩手支部事業計画
Ⅲ. 組織・運営体制関係

Ⅲ. 組織・運営体制関係

(1) 人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置 及び (2) 人事評価制度の適正な運用

人事制度の適正な運用と標準人員に基づく人員配置

KPI設定なし

事業計画

- マネージャー会議を活用した管理職の育成を行う

令和2年度の実施状況

▶ 毎月火曜日に定期開催し、各グループ管理職が事業進捗状況、部下マネジメントの状況について報告、連携 ●開催

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

人事評価制度の適正な運用

KPI設定なし

事業計画

- 組織目標、役割定義に基づき適切な目標を設定し、各事業を円滑に実施する
- 目標達成に向けた業務管理、業務改善を徹底する

令和2年度の実施状況

▶ 上期、下期の目標設定時に評価者と被評価者の面談を実施、コミュニケーションを強化 ●実施

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●						●					

Ⅲ. 組織・運営体制関係

(3) OJTを中心とした人材育成

KPI設定なし

事業計画

- 本部研修の伝達および支部独自研修によりコンプライアンス、個人情報保護の順守徹底、ハラスメント発生の防止を図る
- 現場の創意工夫や発想を活かして業務の効率化、業務の標準化、業務品質の向上を推進する
- 本部研修へ職員を派遣し、伝達研修を実施する
- 事務処理内容、処遇等のサービス向上、レセプト点検、保健師スキルアップ等について支部独自の研修等を実施する
- 事業所訪問、各研修会における事業説明等により営業力、発信力等の向上を図る

令和2年度の実施状況

▶ 令和2年度支部研修計画に基づき下記のとおり実施

●実施

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンプライアンス・個人情報保護・ハラスメント研修※①				●	●	●		● オンライン	● オンライン			
業務の効率化等	各グループにおいて随時実施 ・ パイロット事業提案委員会の開催（随時）											
本部研修（GIS・パワハラ防止）					● オンライン					● オンライン		
支部独自研修の実施※②					●				●	●	●	●
事業所訪問・各研修会	事業所訪問は健康宣言事業の登録拡大等で随時実施、各研修会はコロナ禍の状況により中止											

※① 必須研修・・・コンプライアンス、メンタルヘルス研修（7月）、ハラスメント防止、個人情報保護研修（8月）、ビジネススキル研修（9月）、情報セキュリティ研修（11～12月オンライン）

※② 支部独自研修・・・保健師研修（8月、12～3月、5回）お客様満足度向上研修（12月、業務グループ長補佐が講師となり実施）、プレゼンテーション研修（1月、主任・スタッフを対象に実施）、レセプト点検研修（2～3月、2回）

Ⅲ. 組織・運営体制関係

(4) 費用対効果を踏まえたコスト削減等

KPI

一般競争入札に占める一社応札案件の割合について、前年度以下とする。一般競争入札件数が4件以下となる場合は一社応札件数を一件以下とする

〈 未達成 〉	令和2年度 目標	令和2年度 実績	(参考) 令和3年度目標	[計算式] 一社応札件数 ----- 一般競争入札数
一社応札案件の割合	0%	36.4%	20%以下	

事業計画

- 過去に同様の事業で仕様書の提供を希望された業者に、公告掲載に関する案内を行う
- 公告期間、および納期までの期間を十分に確保する

令和2年度の実施状況

参考) 全国の一社応札割合 : 26.2% (令和元年度末時点)

▶ 入札案件の業者への声掛け、公告期間や納期までの期間を十分確保したうえで実施 (件)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般競争入札	4	1	0	0	0	1	1	1	0	2	0	1	11
うち一社応札の案件数	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
一社応札案件の割合	50%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	36%

参考) 令和2年度 岩手支部事業計画におけるKPI (重要業績評価指標) 一覧

	項目	内容	KPI	KPI実績	達成の可否	3年度KPI
基盤的 保険者機能関係	効果的なレセプト点検の推進	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について、対前年度以上とする	0.338%以上	0.308%	未達成	前年度以上
	柔道整復施術療養費の照会業務の強化	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上の施術の申請の割合について、対前年度以下とする	0.48%以下	0.49%	未達成	前年度以下
	返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	①日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率を〇〇、〇%以上とする	95.7%以上	95.77%	達成	前年度以上
		②返納金債権（資格喪失後受診に係るものに限る。）の回収率を対前年度以上とする	72.88%以上	70.57%	未達成	前年度以上
		③医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度以下とする	0.035%以下	0.052%	未達成	KPI削除
	サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況を100%とする	100%	100%	達成	100%
		現金給付等の申請に係る郵送化率を〇〇、〇%以上とする	92.0%以上	93.8%	達成	95.0%
	限度額適用認定証の利用促進	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を〇〇、〇%以上とする	85.0%以上	79.2%	未達成	KPI削除
被扶養者資格の再確認の徹底	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を〇〇、〇%以上とする	92.6%以上	94.5%	達成	94.7%	
戦略的 保険者機能関係	特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	生活習慣病予防健診実施率を〇〇、〇%以上とする	53.4%以上	55.8%	達成	59.6%
		事業者健診データ取得率を〇〇、〇%以上とする	13.6%以上	11.6%	未達成	18.4%
		特定健康診査実施率を〇〇、〇%以上とする	27.6%以上	21.9%	未達成	27.8%
	特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導実施率を〇〇、〇%以上とする	19.0%以上	15.1%	未達成	24.1% 8.0%
	重症化予防対策の推進	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を〇〇、〇%以上とする	12.9%以上	9.9%	未達成	11.8%
	広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	広報活動における加入者理解率の平均について対前年度以上とする	43.9%以上	35.1%	未達成	KPI削除
		全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を〇〇、〇%以上とする	50.7%以上	51.4%	達成	51.2%
	ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合を〇〇、〇%以上とする ※医科、DPC、調剤、歯科における使用割合	84.5%以上	84.7%	達成	前年度以上
	地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信 i) 意見発信のための体制の確保 ii) 医療費データ等の分析 iii) 外部への意見発信や情報提供	①他の被用者保険者との連携を含めた、地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率を〇〇、〇%以上とする	90.0%以上	66.7%	未達成	KPI削除
②「経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベース」などを活用した効果的な意見発信を実施する		1回以上	4回	達成	発信有無	
組織・運営 体制関係	費用対効果を踏まえたコスト削減等	一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、23%以下とする。	0%	36.4%	未達成	20%以下